Computer Academy Nakamuragakuen PROFESSIONAL COLLEGE

ＣＡＮジャーナル

2025
令和７年
４月号

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

◆令和７年度を迎えて◆

学校法人中村学園
専門学校静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校
理事長・校長　中村　徹

桜花爛漫のこの良き日、**専門学校静岡電子情報カレッジ40期、静岡福祉医療専門学校28期の入学生、また、進級した学生諸君、おめでとうございます！！**

なお、この４月、最終修業年限の在校生は「なりたい自分になる」ために本学に入学し、はや就活を含む、集大成となる卒業年度を迎えたという意識を強く持っていただきたい。

また、修業年限３年間の学生は、まだ２年間あるのではなく、昨年度を振り返り、当初目標の達成度を確認し、来年度に向け、今年度は「より職業観のイメージ」の具現化の目的意識と人間力、社会性を高めてください。

さて、この社会は2020年から４年間続いた新型コロナウイルス・パンデミックに加え、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・ハマス戦争など非人道的事態の日常化、地球温暖化、すすむ気候変動と繰り返す数々の世界的な自然災害を目の当たりにして 改めて飢餓、戦争、自然災害、感染症という人類の歴史的課題の克服が今世紀においても容易ではないことが明らかになっている。

さらに、デジタルテクノロジーとりわけAIをはじめとする科学技術の早すぎる進歩、フェイクニュースを拡散するSNS、ならびに価値観や社会の仕組みが変化するとともに予測の出来ない時代が加速する中、分断と格差の拡大により多くの人が孤独の時代の生きづらさを感じるようになっている。

そこで、**「利他の心」**こそが社会が求めるこれからの時代にみんなが身に付けるべき人間力なのです。

さて、この４月は３年前の民法改正満**18歳成人**により、**学生の皆さんは全員が成人なのです。**成人としての確固たる自覚を持ち、今後の人生の糧となる職業に就くための就学に当たり、しっかりした**「目標」**を立て、学校生活においては学業を通して、日々の努力から**「自己実現」**を図るんだ、という強い心構えを確認する時期となったのです。

そして、新入生は今までの学校生活では義務教育的に与えられた学習から、これからは本学から提供される「学びの場」で、自分自身**の意志と意欲で「自ら学ぶ」**のです。学内環境では講義、演習、実習などで、**試行錯誤**の中からそのプロセスを学び、**フィールドスタディ**で学外では**「産学連携教育プログラム」**のインターンシップ、施設実習・臨地実習、卒業研究、ケアスタディ、ボランティア活動などのプログラムからも**「こだわり」**を持って、**「自ら考え、カタチにすること」**を身につけてください。これが社会に出て、もし「壁」にぶつかったら、それを乗り越えることのできる皆の**「底力」（問題発見・解決力）**となるのです。

要するに、学校生活を有意義にし、**「なりたい自分になる」**ためには、この時期に自己の**「キャリアデザイン」のビジョンを確認**し、この具現化を図るために、**「こだわり」**をもって、**「自らが学ぶ姿勢」**にかかっているのです。

また、遠く母国を離れ、志を抱き入学された留学生、言葉や文化、風俗習慣、環境が異なる土地で就学に勤しみ、生活は慣れないことが多いと思うが、前向きな姿勢で日本の人々との交流を通して意義深い学生生活を送ってください。

そして、社会人入学された皆さんは、就学への強い意欲に敬意を表すとともに、本学の学校生活を通して、今後の人生における多様な生き方の糧を得ることを期待します。

1. 本学の学校生活に確固たる目標を持つ！！

本学創立者の教育理念である高い理想に基づく**「挨拶を基調とした全人教育」**は、本学園教育の根幹をなすもの。学校生活においては**学習を通じて**、社会においては**仕事を通じて「自己実現」を図る**という教えをしっかりと身につけ、**「なりたい自分になる」**という素晴らしい目標達成に向け努力し、このような教育理念を掲げる本学で学び、「これだけのことをやったんだ！」という**「自信」と「誇り」**を持って就職活動に、社会に己を売り込んでください。

2. 新入生御殿場宿泊オリエンテーション

「なりたい自分になる」ために本学の学生としての心構えの徹底と一人でも多くの**「心の友」**をつくることを目的とする。

本学の**「全人教育」**と**「よりよい就職をするために」**の具現化に向け、２泊３日の研修を通して、新入生相互で本学への入学目的を確認し合い、その達成を誓い合う。この目的を同じくする仲間同士でのオリエンテーション活動の成果を、今後の目的達成のための学校生活に反映させる。

先立ち、学科毎の**「職業観」**を確かめ、自分を主人公としてのイメージ付け、シーン毎に自分がどのような専門スキルを持つことによって、自己の成長に繋がり、「しごと」の完成度が高くなり、キャリアアップに繋げられるのか？自己の完成予想図を頭に浮かべながら、自ら講義や実習を受講する姿勢を通して、自分のイメージ像をかっこよく磨き上げていくフロー(企画書)を作成してください。

また、人生における人的財産となり、お互いに切磋琢磨できる**「心の友」**を、この学校生活の中で一人でも多くの友をつくり、**「友情と絆」を育み**大切にしてほしい。

朋友は　我が喜びを　倍にし、悲しみを　半ばにする」

これからの君たちの日々の生活が、**「感動」**を求め、**「充実感」、「達成感」**ある生活であることを期待します。

3. 我々を取り巻く社会的背景　時代は大きな転換期

長く続いたコロナ禍の「新生活様式」は**社会のDX化を加速**させ、世界的なインターネットが生み出した膨大な情報を、AI技術によって社会が活用していく新たな社会像が提起され、価値がモノから情報に移り、情報資本に立脚した社会への転換が起こされてきた。皆がこれから活躍する社会は、デジタルを活用し、AIによる情報を価値化することで優位な競争力を生む社会だ。

ゆえに、我々がこの社会で生きていくためには、これらの**変化への対応力と多様性への適応力を身に着け、「新たな知識を常に取り入れていくこと」：ブラッシュ・アップ**が日々の生活の中に求められている。

ダーウィンは「進化論」の中で、「最も強いものが生き残るのではなく、賢い者でもなく、唯一生き残ることができるのは変化に対応できるものである」と言っている。

NO.２へ続く

CANジャーナル

2025
令和7年
4月号

学校法人　中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

これから進み行くべき社会は、人口減少・少子高齢社会にAI、IoTなどの高度な技術革新の成果と、「こころ」という人間の本質的特性との共存時代である。

4. 目指せ！CANスカラシップ　学生リーダー養成

「ヒトづくり」と「経済的支援」

本学校訓にある「“Why”人間の育成」の具現化のため、学内・外の**「自分磨き」**の様々な活動を通して、「コミュニケーション力」「対人スキル」「問題発見･解決力」「先見性」「洞察力」「発想力」「統合力」「情報分析力」等を身に付け、**「自ら考え、問題解決」**でき、社会に出てから組織の中で一歩前に出てリーダーシップが発揮できる**変化への対応力と多様性への適応力を身に着けた人材養成**を目的とした制度です。学内・外活動内容の評価によりN-CapAとN-CapBに選考されます。詳細は「学生の手引」を参照。我こそはと思う学生はクラス担任に「CANスカラシップ　自己推薦文」を添えてエントリーして下さい。

5. 全学科　文部科学大臣認定「職業実践専門課程」

本学では各業界と連携した実習･実技等のカリキュラムやフィールドスタディ等の校外活動を通して実践的に学ぶ「産学連携教育プログラム」により、最新の「専門的な知識・技術、技能」だけでなく、「社会人基礎力」や「問題発見・解決力」等を身につけ事のできる教育システムを構築。認定要件にもある**「学校関係者評価委員会」・「教育課程編成委員会」・「キャリア形成促進プログラム教育課程編成委員会」**を設置、年に各2回開催。

委員会構成メンバーは各業界の経営者や管理者、職業人と本学教員で情報交換がなされ、カリキュラムや学生指導方針等の毎年ブラッシュアップがなされている。

6.「入学と併せて、18歳成人おめでとう！」

自由・見聞が広がった分、責任を伴う

2022年から「成人年齢」が、欧米諸国等の80%の国のように20歳から18歳に引き下げられた。この成人年齢とは、「独立した個人として社会に参加する年齢」ということ。具体的に何ができるかといえば、自分の意思だけでスマホやマンションの購入契約を結んだり、クレジットカードを作ったり、ローンを組んで外車の購入、または公認会計士や司法書士等の国家資格取得ができるようになる。しかし、特に注意をしてほしいのは**「未成年者取消権」**の保護がなくなり、原則として契約を取り消せなくなった。例えば、高額な商品をローンで買わされたりしても、自分で責任を負うことになる。過去、「消費者被害」が多かったのは20・21歳でした。これからは18・19歳が狙われやすい。

ついては、これからは**特に「儲かるお金の話には要注意！」**をすること。

困ったと思ったら早めの相談！！全国共通相談窓口「消費者ホットライン」電話「188」に相談すること。一定の期間は契約解除ができる「クーリング・オフ」制度。

7. SDGsからSWGsへ

「Well-Being」　「未来サミット2024」

さて、SDGsは、2030年に向けて17の目標と169のターゲット、それに伴う232の指標を示し2015年に策定された。一つは1992年ブラジルで世界初の地球環境問題国際会議**「地球サミット」**が開催され地球環境に関する「持続可能な開発」という考え方と二つ目は2001年の途上国開発のための**「ミレニアム開発目標」**の未達成部分を含み途上国から先進国まで193カ国が参加して合意。

国連生誕100周年2045年までの新たな国債指標はSWGsへと進化する。SWGsはより人間中心のアプローチをとり、「幸福と福祉」を中心とした概念は、持続可能な社会を実現するための新たなる指針となり、環境と社会の両面から人類の生活の質が高まっていくことでしょう。

SDGs　Sustainable Develop Goals
サステナブル・デベロップ・ゴールズ

SWGs　Sustainable Well-Being Goals
サステナブル・ウェルビーイング・ゴールズ

8. 新入生保護者様　後援会入会にあたり

令和7年度新入生の保護者様、本学園後援会に入会いただきありがとうございます。

本学後援会は、「学生に、**より充実した学生生活を送ってもらう**」という目的のもと、本学の教育と研究の両面で、就職活動をはじめ学生各種活動補助、入学式・卒業式に際しての支援、教育・研究環境整備への補助、専門職業教育学会への参加、産学連携・学校連携等に関する支援など、多大なご尽力をいただいております。

つきましては、**学校と家庭の両輪**で、学生たちを胸張って社会へ送り出すため、

本学園の教育内容をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、**皆の令和7年度が実り多い学生生活となりますことを心より祈念します。**

学校法人　中村学園　　NO.3へ続く